

せいれい
 いふうらい ^{えが} 猪風来の描く北のくらしと精霊たち展

会期 2021年3月2日(火)～5月30日(日)



「雪おんな」(アクリル水彩)1990年

北海道アイヌモシリに暮らした20年、大自然の懷に抱かれて縄文の心を求め、縄文芸術の道を探求した日々を描いた猪風来の絵画展。真っ白な雪に覆われた極寒の冬、分厚い雪の下にある大地は生命をはらんでゆっくりと育み、雪解けの春を待って一気に放出する。山野や川に生きる動物や虫たち、繁る草木は原生の息吹そのままに、豊かな生命を爆発させる。そして巡る季節の森羅万象の中に現れる精霊たち。あらゆる生き物たちと同じ目線をもつ縄文視座から描き出す北のくらしの絵日記のような絵画です。自然の恵みをいただきながら 自給自足でくらしただけの日々の中で生まれた ゲンヤがいる風景、大自然の一部として生きる生きものや人、精霊たちが交歓する

なつかしい風景が鮮やかに蘇る。1990年から数年間に描かれた猪風来の珠玉の作品たち。どうぞご高覧ください。



「ごーりんごーりん」(アクリル水彩)1990年



猪風来美術館
 新見市法曹陶芸館

〒719-2552
 岡山県新見市法曹609
 TEL/FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

日本唯一の現代縄文美術館。
 縄文造形家・猪風来と村上原野の縄文野焼き作品など代表作を200点以上常設展示。
 生命と魂のデザイン
 ～縄文スパイラルアートを現在直下で展覧。

【開館時間】午前9:30～午後5:00
 【休館日】月曜日(祝日は開館・翌日休館)
 【観覧料】一般400円/高校生200円
 【アクセス】新見ICから車で30分
 JR方谷駅からタクシーで約10分